



情報ステーション

しろやま



城山地区地域内交通「城山孝子号」運行開始式



▲テープカットとともに飛立つ鳩



▲竹澤会長のあいさつ



3月10日(土) 午後2時から行われた運行開始式は、前日から続いた曇天の間からこの時を待っていたかのように柔らかな日が射し、まるで「城山孝子号」の出発を祝うかのようでした。

宇都宮市長をはじめ多数のご来賓のご臨席をいただき、この日を迎えられたことは、自治会長をはじめとする多くの地域の皆様のご協力の賜物と深く感謝いたします。

運行開始式のクライマックスでは、テープカットの瞬間に大空に向けて鳩が飛び立ち、城山中学校吹奏楽部による「銀河鉄道999」の演奏とともに、晴れの日を祝うに相応しいものとなりました。

12日(月)から運行を始めた城山地区地域内交通「城山孝子号」は、地域の身近な足として多くの皆様に利用いただき、長く愛される乗り物になることを願っています。

城山地区地域内交通運営協議会 会長 竹澤 利一



▲市長と愛称命名者代表の北条柁平さん(城山西小)によるマグネットシート貼付け



▲テープカットをして出発!

成人式を迎えて



▲誓いの言葉

私たち、平成24年度城山中学校卒業生は、平成30年1月7日に成人式を迎えました。成人式当日は、卒業以来一度も会っていない友人たちとも再会することができ、皆それぞれの夢や目標に向かって努力していることを知り、私も今まで以上に頑張ろうという気持ちになりました。この成人という大きな節目を迎えたことで、社会的にもある程度自由が認められるようになりました。しかし、裏を返せば今まで以上に自分の行動に責任を持つことが重要になったということだと思います。これからは成人としての自覚を常に忘れず、人を思いやる優しい心を持って、社会に貢献していきたいと思います。この当たり前のような幸せも、家族、学校の先生方、地域の方々が温かく、時には厳しく育ててくれたお陰です。また、20年間共に学び、喜び、支え合いながら、育って来た多くの仲間もいます。今まで出会った全ての人たちに心からの感謝の気持ちを伝えたいです。

最後に成人式を行うにあたり、ご協力いただきました成人式実施委員会、ご協賛いただきました地域の皆様に心より感謝いたします。

皆様ありがとうございました。

平成30年城山中学校区 新成人代表 伊澤 陽平



▲ソフトドリンクで乾杯!



▲1組



▲2組



▲3組



▲4組

元気いっぱい城山老人クラブの活動

城山老人クラブ連合会は、グラウンドゴルフや輪投げなど、数多くのスポーツ大会を開催し、会員同士の親睦を深めています。



▲ねらいをさだめて



▲何点になったかな？



▲声高らかに合唱



▲熱気あふれる会場

29年度 城老連福祉演芸大会

12月2日(土)城山地区市民センターで城老連福祉演芸大会が行われ、町内の「のど自慢」が競いました。お知り合いの方が写っていませんか？



ヨ!
日本一!



▲ステキなフラダンス



▲みんなも踊りましょう

城山地区コミュニティ協議会新年会



池田会長のあいさつ

城山地区コミュニティ協議会の新年会は、1月12日(金)午後7時からコンサーレに於いて開催されました。新年会には、自治会をはじめ、各種団体の役員など101名が集い新年を祝いました。

池田会長からは、地域内交通検討部会が約2年間の検討を経て、昨年9月に運営主体となる城山地区地域内交通運営協議会を設立し、3月10日に運行開始式を行い地区全域で『城山孝子号』として運行開始をすることや宇都宮市による大谷地区活性化への取り組み等、新年に相応しい明るい話題での挨拶をいただきました。

来賓には宇都宮市佐藤市長にもご臨席を賜り、人口減少対策、高齢者の足の確保、大谷地区の観光振興について城山地区に対する力強いバックアップのお言葉をいただき平成30年の幕開けにあたり大変心強く感じることができました。

城山地区コミュニティ協議会 事務局 小原 良一



▲活発な意見交換が繰り広げられました

城山地域ビジョン推進部会の活動 “ホッとするまち しろやま”を目指して

① 安全・安心・教育部会



▲地域の安全を考え中

城山地区の「安心安全マップ」を作成中。沓川の洪水ハザードマップにあわせてゲリラ豪雨における土砂災害の対応策なども盛り込む予定です。

② 健康・福祉部会



▲熱心な受講者の皆さん

「城山のまつり・しきたり」の一覧表を作成・配付し、地域の絆を深める一助としました。

また、福祉協力員選任のない自治会に配置を促す取り組みを行ったほか、「認知症サポート一養成講座」も開催しました。

③ 地域コミュニティ部会



▲コスモスでおもてなし

花いっぱい運動として、ジャパンカップサイクルロードレースのウェルカムフラワーとして「コスモス」を栽培し、ロードレースの沿道、地区市民センター、学校にコスモスの花を飾り選手や観戦者のおもてなしをしました。また、希望する自治会や個人にも苗を配付しました。



▲重いから気をつけて

④ 観光・地域産業部会

ホッとふるまちなち城山・みんなのまち大谷

この城山地区には、豊かな自然と農産物、そして古い歴史や伝統ある文化が私たちの周りの身近なところにある。ぜひ、それらを、ぜひ大人や地域の顔へ学習などでたくさん発見して書き込み、私たちの「城山マップ」を作ってください。

▲配付した農産物マップ



▲農産物マップ贈呈式に出席した皆様

城山地区の郷土料理 (1) 「ホッとふるまちなち」

城山

みみ

「耳うどん」

城山地区は、農業が盛んな地域です。古くから、地域で栽培された小麦で手打うどんを作っていた食文化があります。

ここで紹介する「耳うどん」は、上古賀島の「夏宮神社」の氏子を中心に、1月にわたる祭りの直会の中で振舞われた料理といわれています。

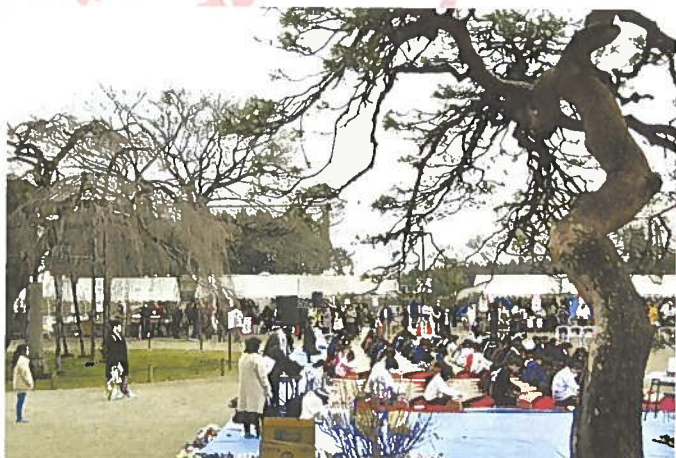
▲「耳うどん」のレシピつくりました

地域の4小学校(城山中央小、城山西小、城山東小、明保小)の児童に「農産物マップ」を配付しました。

郷土料理の研究と普及活動の一環として、文化祭で「耳うどん」のメニューの配付と販売を実施し、城山東小学校では、6年生を対象に調理実習を行いました。

古賀志 孝子桜まつり

4月1日(土) 2日(日)城山西小学校において古賀志孝子桜まつりが開催されました。残念ながら、桜の開花が間に合いませんでしたが、在校生と卒業生の琴の演奏は圧巻でした。また、古賀志地区の方々が一体となって、来訪者一人一人をおもてなししていたのが、印象的でした。



▲琴の演奏



▲たくさんのブースが並びました

大谷石 夢あかり祭

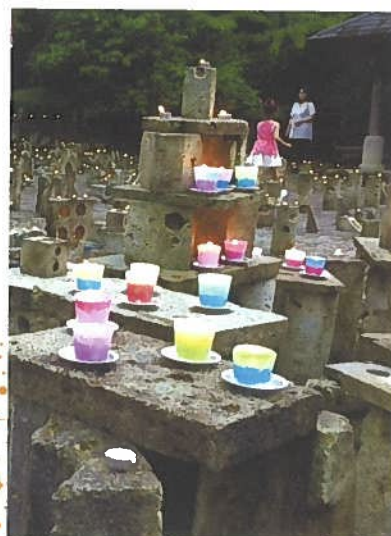
8月14日(月) 15日(火)大谷公園及び参道で、大谷石夢あかり祭が催されました。大谷公園には様々な形の大谷石が並び幻想的なキャンドルの灯りの中、演奏会、舞の宴、お囃子と売店も出て、大勢の人の来訪がありました。大谷石夢あかり祭が、城山の祭として、盆中の行事として光輝いていました。



▲明保地区地域協議会



▲夜はとっても幻想的



▲大谷石にキャンドルが映えて



▲城山東小子どもの家



▲城山西小さくらスクール

フェスタ in 大谷

10月21日(土)午後5時から大谷資料館で、フェスタin大谷が開催

されました。雨の中、大勢の人が来場され、大谷資料館前は長蛇の列になりました。中に入って、大谷石の壁に映し出されたプロジェクションマッピングの絵をスマホやデジカメで撮影したり、外に出て、ジャズの生演奏を聴いたり、さらに、ライトアップされた大谷の景観を眺め、人車鉄道の展示の前では、昭和初期までタイムスリップした気分を味わうことができました。



▲プロジェクションマッピング



▲雨の中を……ありがとう

城山をきれいにする活動

城山あったか活動 2017

「みんなできれいに住みよい城山」を合言葉に城山中学校とコミュニティ協議会、ナルク栃木の共催により毎年開催している清掃活動です。

参加者は総勢600名を数え、地域内の各所に分かれてゴミ拾いや除草、市営駐車場の草刈などの美化活動を実施しました。



▲ゴミを拾いながら歩きます

「よみがえれ大谷」秋の活動

大谷エリアの景観の向上や、多気山への花木の植栽などにより、「地域のイメージアップ」と「おもてなしの向上」に向けて四季折々の美しさを感じられるよう活動しています。「よみがえれ大谷」は3月末に春の活動も実施しています



▲大勢の皆さんが協力



▲あじさいの剪定

不法投棄監視パトロール



不法投棄対策協議会は年2回のパトロールを実施しています。今回は、雪が降った直後で、足場の悪い中47名が、4班に分かれ、道路わき等に投棄された大型ゴミを軽トラック7台分回収しました。



▲なんでここに捨てちゃうの？



防災訓練にも協力しています

城山を守る活動

消防団活動

私たち消防団は、地域密着型の組織です。宇都宮市消防団城山分団は、15部で構成されており、宇都宮の消防団の中でも、一番部数が多い分団で、現在160名の団員が活動しています。皆、仕事・家庭を持ちながらの活動です。

まず、主な活動内容について紹介します。4月に本部から年間の行事が出され、それを各部に伝え、年間の予定を決めます。6月には消防操法大会があります。大会は、各部回り番にての出場になります。出場する部は、4月頃から練習を開始します。朝まだ暗いうちから集合し、準備して練習しています。大会までの約2か月間、優勝目指して一生懸命頑張っています。この練習により、操作技術の向上はもちろん、団員一人ひとりが助け合い励まし合い、そして絆も生まれてきます。

次に、水防訓練、鬼怒川の河川敷での訓練になります。私たち消防団は、水防団も兼ねていて、城山地区にとっても大切な訓練になっています。

夏には、夏季点検という重要な行事があります。この行事は、点検者となる宇都宮市長に、人員、服装、車両、操法を見ていただくもので、年間の成績にも大いに関係してきます。本番の前にも予行練習をして、夏の暑さにも負けずに団員一人一人頑張ってくれます。

秋になり、機械器具点検があります。これは、消防団にとって大切な車両、積載品等を点検します。

冬になり、年末年始の夜警が実施されます。鐘を鳴らしながらの各地域を巡回しますが、皆様に、「火元には気を付けよう」と思っただけであれば嬉しいです。年が明け、最初の行事が、出初め式です。式典、放水、分列行進が行われます。式典では、各種表彰が行われ、放水は宇都宮城址公園で、行進は大通りで行われます。

最後に、宇都宮市消防団では、団員を募集しています。女性団員も募集していますので、よろしくお願いたします。

宇都宮市消防団城山分団 分団長 宇賀神 伸一郎



第62回 城山地区体育祭



▲名物競技 城山競輪



10月8日(日)城山中学校グラウンドで、第62回城山地区体育祭が開催されました。18自治会の参加で、選手宣誓は、抽選の結果、上中福岡自治会が行いました。競技は、自治会の団結力で高得点を目指す「紅白玉入れ」や、自治会ごとに熱の入った応援で城山全体が一体となった「町内対抗リレー」のフィナーレまで熱戦が繰り広げられました。成績は、優勝は田野自治会、準優勝は下福岡自治会、第3位は古賀志自治会でした。優勝の田野自治会は、4連覇を達成!おめでとうございます。来年も、多くの自治会の皆様のご参加をお願いします。そして、選手も応援団も共に、体育祭を通じて「ご近所同士が支え合い心豊かに暮らせる元気なまちしろやま」を体感しましょう。



▲家族みんなで参加です



▲息ぴったり!

城山地区文化祭・農業祭



11月4日(土) 5日(日)城山地区市民センターにおいて、城山地区文化祭・農業祭が盛大に開催されました。2日間の延べ来場者数は、約1,600人で、昨年より100人ほど増加しました。作品展では、城山地区の小学校・保育園と県立盲学校、サークル、一般の方から、たくさんの力作を出展していただきました。ホール部門では、健康体操、マジックショー、合唱などが披露され、社交ダンスのデモンストレーションと夜のダンスパーティーは、拍手喝采で盛り上がりました。城山の若い力となる城山中央小合唱部、城山中吹奏楽部の発表では、大勢の人が応援のエールを送っていました。初めて開店した歌声喫茶「しろやま」には、予想を上回る人が集合し、最後には、全員立ち上がって、大きな声で「勇気100%」を合唱しました。市民センターのロビーでは、大谷夢あかり写真展や婦人防火クラブの展示などに加え、平和観音開眼式・昭和30年代の宇都宮市の情景とジョイスポしろやまの紹介ビデオが放映されていました。模擬店部門では、耳うどん、赤飯、もち、焼きそば、けんちんそばなどのほか農産物が販売され、来場者のお腹と買い物意欲を十分に満足させていました。新メニューの「耳うどん」は、城山地域ビジョンを推進する観光・地域産業部会の一押し城山地区の名物料理です。地域内交通PRコーナーでは、PRとともに予約型乗り合いタクシーの愛称の募集も行われていました。

来場者の皆さんは秋の風物詩を存分に楽しんでいました。



▲生演奏に合わせて…歌声喫茶「しろやま」



▲飛入り参加也大歓迎



▲力作がズラリ



▲体操で健康づくり



▲社交ダンス・デモンストレーション



▲たくさんの方が来場



▲城山中央小合唱部



▲城山中学校吹奏楽部



ジョイスポしろやま チャレンジ教室 魚釣り

平成 29 年 9 月 10 日



森林公園 赤川ダム取水口付近
に子供40名 保護者30名が集まり、
チャレンジ教室魚釣りが行われました。
取った魚を近くのBBQひろばで
焼いて美味しく頂きました。



取った魚をお父さんにさばいて
もらったり、自分でも魚さばきに
初挑戦!
(ヌルヌルして気持ちワル)



魚を釣ったり、BBQ で食べたり、 楽しい一日でした。

西の宮自治会創立45周年 西の宮公園愛護会大臣表彰

西の宮 七夕祭



西の宮1号児童公園愛護会様
貴団体はみどりの愛護に優れた活動を行
い緑化推進におけるその業績は誠
に顕著であります
よって第二十回全国「みどりの愛護」の
つどいの開催に当たりその業績を
たたえ深く感謝の意を表します
平成二十九年六月十日
国土交通大臣 石井啓一

「ありがとう」について!!



西の宮自治会は、創立45周年を迎え、その記念として会員の全世帯にありがとうの言葉が印刷された記念のタオルが配布されました。この「ありがとう」の言葉には3つの感謝の気持ちが込められているそうです。

一つめは45年間自治会を支えてくれた会員の皆様へのありがとう。

二つめは、6月10日(土)に、みどりの愛護活動で公園愛護会が国土交通大臣から表彰を受るに至り、日頃から公園整備に地道に取り組んでいる関係者の皆様へのありがとう。

三つめは、自治会運営について、会員の皆様のために一生懸命活動するという創立以来先輩たちから綿々と引き継がれてきた歴代の世話人会の人たちにありがとう。

このタオルを使う時には、3つの感謝の気持ちを思い出してくださいね。

1号公園の大臣表彰について、宗像自治会長からは、「栃木県での受賞は、5年ぶりの快挙で、自治会の先輩方の努力の賜物である。受賞を契機に、「このすばらしい公園を自治会のみなさんに有効活用していただきたい。」また、「2号公園には、娯楽遊具の他に健康遊具が設置されますので、子どもたちばかりでなく、大人の方々も活用してください。」とのあいさつがありました。

7月29日(土)には、さっそく1号公園で、恒例の三世代交流イベントの「七夕まつり」が開催されました。当日は、小雨模様でしたが、福田知事の来訪や、お囃子、ハワイアンダンス、マジックショーなどのイベントがあり、西の宮の明日を担っていく子どもたちと現役世代のお父さん・お母さん、シルバー世代のおじいちゃん・おばあちゃんがたくさん参加してみんな楽しい一日を過ごしていました。



田舎町天王祭

城山にもぶっつけ祭や山あげ祭に負けない天王祭があります!!

田舎町の八坂神社の天王祭が、7月30日(日)に開催されました。天王祭は、何百年か続いていると伝えられていますが今の(屋台を引いて、おはやしではやし立てながら町内を巡行する)形で行われるようになったのは、約30年前に田舎町の住民の協力により屋台が修復されてからです。天王祭の天王とは、牛頭(びす)天王のことで、インドでは祇園精舎の守護神で、日本では、御霊信仰と結びついて厄神とも考えられ、逆に、牛頭天王を丁重に祭ることにより、疫病や厄災からのがれることが出来るといわれています。田舎町の天王祭も30年以上事故もなく無事に続けてこられたのは、お天王様のおかげかなとも思っています。今年も祭りが盛大に行えたのは、田舎町の子ども会、すみれ会、おはやし会など田舎の皆様の持つ協力心と結束力のおかげだと思います。これらは、田舎の風土、城山の風土が作り上げたものかなと思います。今は田舎町の天王祭であります、城山の皆様が大量参加してくれるようになって、城山の伝統行事・城山の祭りになっていけたらと思っています。来年の天王祭には城山の皆様、是非来てくださいね。

田舎町おはやし会 会長 上野 耕一



▲ 地区内のひき回しの様子



▲ 祭りに参加した田舎町の皆さん

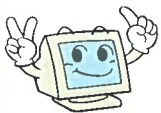
編集後記

情報ステーションしろやまでは、城山地区で行われる各種イベントの情報や情報を記録した写真などを募集しております。

城山地区内の皆様からの情報提供をもとに“ホットするまちしろやま”の実現に一歩でも近づくことができますようご支援・ご協力をお願いします。

(編集長)

城山地区ホームページが楽しい!



城山地区ホームページが毎月第4木曜日には更新されています。城山のタイムリーな情報を掲載していますのでアクセスしてみてください。

ホームページアドレス

<http://www2.ucatv.ne.jp/~shiro333/>

編集・発行

城山地区コミュニティ協議会

〒321-0345 宇都宮市大谷町1059番地5
宇都宮市城山地区市民センター内
TEL 028-652-4794
FAX 028-652-5570